

DXへの取り組みを 再開発ビル活性化 ネットワーク総会

再開発ビル活性化ネットワークは11月30日にウェブ会議システムで2020年度定時総会を開き、同年度活動計画・予算などを決めた。

藤山正道理事長は「コロナ禍で、年初から賃料減額や退室、テナント誘致などに直面している再開発ビル



管理運営を担っている会員も多いと思う。アフターコロナの時期には私たちを取り巻く景色も変わっているだろう。デジタル技術による業務やビジネスの変革を意味するデジタルトランスフォーメーション(DX)に取り組んでいるところが生き残る。ネットワークでは、ビルの運営管理の生き残り方策や、DXの準備についての小規模リモート研修を実施していく。ネットワークが積み重ねてきた知見をできるだけフィードバックしていきたい」とあいさつした。写真。

20年度事業計画には、再開発ビルのネットワークの強化・多様化や、研修会、調査研究などの成果の情報提供・発信などを盛り込んだ。